

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】



1. 事故・ヒヤリハットの別	事故
2. 体験した事例の名称	庁舎屋内階段での警防訓練中(要救助者徒手搬送)における腰痛発症事案
3. 体験した事例の中心的要素	当事者の病歴に腰痛があることを周囲が認識しておらず、尚且つ生体を使用しての訓練のため、いつも以上に負荷がかかったことによる。
4. 体験した事例の原因・理由	日常はダミー人形での訓練はしており、生体を使つての訓練に慣れていなかった。 徒手搬送要領の不備

【体験した事例の直接的原因について】



1. 体験した事例の直接的な原因	行動の実行に問題があった。(誤った手順を取った等)
------------------	---------------------------

【体験した事例について】



1. 発生日時	平成28年7月16日 午前11時頃
2. 発生した当時の天候	晴れ
3. 発生した活動現場	屋内:庁舎屋内階段
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷した。
5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)	軽傷の怪我
6. どのようなことが起きたのか(起きそうになったのか)	腰痛
7. 事例体験時の活動	演習訓練、[火災]
8. (7の活動中)どのような作業中に発生したか	その他:警防訓練(徒手搬送)
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した

● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

○当事者A	年齢[29]歳、勤続年数[3]年、現場経験年数[2] 年、階級[消防士] 同様の活動 [過去に1,2回程]、任務 [隊員]
○当事者B	年齢[26]歳、勤続年数[4]年、現場経験年数[3] 年、階級[消防士] 同様の活動 [過去に1,2回程]、任務 [隊員]
○当事者C	年齢[43]歳、勤続年数[20]年、現場経験年数[19] 年、階級[消防司令] 同様の活動 [過去に1,2回程]、任務 [車長]
○その他(当事者が4人以上の場合)	

.....

	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	当事者A・B・C	庁舎を使用して警防訓練開始	
経過2	当事者A・B	庁舎屋内階段を使用して屋内進入開始	
経過3	当事者A・B	2階部分に要救助者(当事者C)発見	
経過4	当事者A・B	徒手搬送にて屋内階段降下	
経過5	当事者A	階段踊り場にて腰痛を発症し動けず	
経過6			
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			
経過11			
経過12			

[illegible]

○事故の場合：事故が起きたのはどうしてだと思えるか？

○ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

体力、反射神経等身体能力が劣っていた 他隊(員)との連携活動がうまくいかなかった

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	はい
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	はい
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	はい

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用 방법이誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった(寒かった)。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	はい
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

徒手搬送時の体勢が悪かった。

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

- ・焦り等で迷いが出ないよう、基本訓練を繰り返し実施した。
- ・一時の無理により周囲に迷惑がかかることを再認識し、異常があればすぐに上司に報告するように徹底した。

○装備・資機材の対策について

なし。

○活動環境の対策について

活動しにくい環境等では普段以上に体力を消耗することを再認識し、体力練成に取り組んだ。
徒手搬送要領の再確認。

○指揮・情報伝達の対策について

なし。

